

登録コード	SSG02605	開講年度	2026					
授業題目	特別研究（物理学ユニット）					担当教員	加藤 千尋	
英文授業名	Special Research（Physics Unit）					副担当		
単位数	6	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	不定期			
講義室					備考			
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】				⇔	【授業の達成目標】		
	2 4 SSカリ・理学							
	～24SS【DP3】それぞれの研究分野における高度な専門的知識とグローバルな情報収集・発信能力				⇔	科学研究における基本的事項の理解および実践		
	2 6 SSカリ・理学，2 5 SSカリ・理学，2 4 SSカリ・理学							
	【DP5】専門知識に基づいた見識を持ち，その妥当性を理論的に説明し，議論する能力				⇔	科学研究における基本的事項の理解および実践		
	2 6 SSカリ・理学，2 5 SSカリ・理学							
	【DP3】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力				⇔	科学研究における基本的事項の理解および実践		
(2)授業の概要	具体的な研究対象の選定から始まり，研究手法の決定，実施及びまとめ(論文作成)の一連の流れを追う。修士課程在籍期間すべてを通して行い，通常授業のように毎週x時限目に授業，というスタイルは取らない。議論は随時行い，最低でも月に1回は進捗をまとめて口頭発表を行う。							
(3)授業のキーワード	実験研究，宇宙物理，論文執筆，発表							
(4)授業計画	1)研究対象の選定 2)研究(解析)手法の決定 3)遂行 *)必要があれば随時見直し(場合によっては1)の見直しも含む) 毎月1回の口頭発表(口頭発表に必要な知識，技術に関する演習をかねる) 修士論文としてまとめる(提出は最終年度の1月末日)							
(5)成績評価の方法	修士論文及び，口頭発表(含質疑)によって評価する。							
(6)成績評価の基準	a)自身の行った研究に関する知識を有する b)研究に関連した幅広い知識を有する c)口頭発表に際して，必要な情報をわかりやすく提示できている d)修士論文に必要な情報が記述されている e)修士論文の論旨が明確であり，論理的に提示されている a)～e)について 全て満たす>S 4項目>A 3項目>B 2項目>C							
(7)事前事後学習の内容	研究活動を行うので，自身で調べることが多くなる。必要な論文，教科書等を検索して読み込むことが必要。							
(8)履修上の注意	必要な知識を得るために能動的に行動すること。							
(9)質問,相談への対応	随時							
【教科書】	指定しない							
【参考書】	指定しない							